

推薦調書（実装部門）

表彰区分	指定都市・中核市・施行時特例市等	推薦都道府県	和歌山県
地方公共団体名	和歌山市		
取組名称	IoT/ICT を活用した子供の見守り事業		
連携自治体、企業、団体等	和歌山電力株式会社／株式会社 otta		
デジタルを活用した取組の概要 （デジタルを活用した取組の全体概要と解決する個別課題の具体的内容）	（種類）	①	（左記が①の場合 の分野） 子育て
	<p>【デジタルを活用した取組の全体概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・和歌山市が事業主体となり、事業の受託者である和歌山電力株式会社とともに、希望する小学生（和歌山市立の全小学生が対象）に無料で見守り端末（位置情報を発信する笛型の発信機）を配布することで、地域の方々の見守りに加え、IoT/ICT を活用した子供の所在が把握できる環境を整備。 ・見守り端末を身に付けた小学生が、見守り基地局（市内の店舗や事業所等の固定スポットに設置）付近を通過、もしくは指定のアプリをインストールした市民（移動スポット）とすれ違うことで位置情報を記録するなど、見守りネットワークを構築。 ・緊急時には学校、教育委員会等の関係機関へ位置情報を提供するなど、子供にとってより安心して安全な環境づくりを推進するもの。 ・市や教育委員会のみならず、地域の事業者や市民を含めた、市全体が一体となって子供の見守りを行う事業である。 <p>【実施に至る経緯・動機】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近年、子供が犯罪に巻き込まれる事件が後を絶たず、地域において子供の安全確保が急務となっている。和歌山市においても年間かなり多くの不審者情報や、未帰宅児童の捜索依頼があるなど、子供が犯罪に巻き込まれる（可能性のある）事案の件数は増加傾向にある。また、登下校時は地域の方々による見守り活動をほとんどの地域で実施してくれているが、見守りの直接的な声掛けと先端技術等を活用した見守り事業も併せて実施することで、更に子供の安心・安全につながると考え、導入に至ったもの。 <p>【解決する課題の具体的内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【実施に至る経緯・動機】にも記載のとおり、世間では、子供が犯罪に巻き込まれる事件が後を絶たず、不審者情報が年々増加し、子供たちが声をかけられるなどの課題を抱えている。また、アンケート調査によると子供の安心・安全に対するデジタル機器を活用した対策について、「あれば利用したい」「サービス内容や料金等の条件によって利用を考える」との回答率が98%に上っている。 ・こうした中で、令和3年度よりIoT/ICT を活用した子供の見守り事業を開始するなど、市全体での子供の見守りを強化することで、抑止力にもつながるとともに、地域の事業者等が自分事として捉える意識を醸成することにつながることから、安心安全な子育て環境を整備する。 		

<p>デジタルを活用した取組による成果（成果がわかるデータ・数値）</p>	<p>【取組のアウトプット】 ※令和4年度は5月現在</p> <ul style="list-style-type: none"> 見守り事業の参加者数 令和3年度 22校 1045人 令和4年度 30校 1775人 <p>【取組のアウトカム】</p> <ul style="list-style-type: none"> 見守り事業による通報件数 令和3年度 0件 令和4年度 0件 <p>【総合的なアウトカム】</p> <ul style="list-style-type: none"> 市内で発生した不審者情報件数 参考値 令和2年度 159件 令和3年度 123件 令和4年度 16件
<p>本取組の特徴的な点やデジタルの活用において工夫した点</p>	<ul style="list-style-type: none"> 本事業では和歌山電力株式会社と連携し、株式会社 otta の技術協力のもと、見守りシステムが導入されたもの。 本事業の見守り基地局は市内の店舗や事業所等に設置するとともに、指定のアプリをインストールした市民（移動スポット）によって見守りネットワークを構築するものであり、市全体の方々の協力によって成り立つ事業であるため、地元金融機関や交通事業者、公共機関等に協力を仰ぎ、基地局の設置やアプリの一括導入を依頼。 市長による記者会見で発表するなど、広く市民の方々にPRすることで、見守り事業の周知、指定のアプリを多くの方にインストールしていただくよう促した。 本事業に要する経費は市の予算が発生しておらず、民間事業者による支出と、見守り事業のオプションによる収益で賄われており、継続的な実施体制を確保している。
<p>今後の展望</p>	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年4月現在 市内小学校25校が見守りサービスを導入済 令和4年5月 新たに5校が開始（導入者1775人） 全小学校51校（義務教育学校前期課程含む）導入に向け、小学校や地域の方と協議中。 令和4年5月 HPによりアプリのインストールをPR

「IoT/ICT を活用した子供の見守り事業」概要図

IoT を活用した見守り事業「和歌山 子供の見守りサービス」

和歌山市は、和歌山電力との連携の下、子供の安全確保のため、これまでの地域の方々の見守り活動(リアルタイムの目)とIoTを活用した位置情報の記録ができる環境を整備し、地域と共に見守りのネットワーク「和歌山 子供の見守りネットワーク」をつくり、社会全体で子供の見守りを開始。

この「見守りサービス」は、専用端末を携帯する子供が、市内に整備された「見守りスポット」を通過するときに位置情報が記録され、記録された位置を保護者がスマートフォンで確認できるというもので、令和3年6月から見守り環境の整備が完了した校区の市内児童を対象に専用端末が配付されます。

将来的には、小学生のみならず、高齢者などにもサービス対象者を拡張させ、市のスマートシティ化を促進していく予定です。



■サービス内容

子供が携帯した見守り端末が出す電波を、見守りスポットが検知し、子供の移動経路や位置情報履歴を確認することができるサービス。

<無料サービス>

無料でご利用できる「万が一の時に役立つ見守り機能」は、お子さまの登下校やお出かけ時に記録された位置情報履歴を、万が一時に学校や教育委員会にご相談いただくことで開示する見守りサービスです。

<有料サービス>

オプション提供の有料プランをご利用いただくと、保護者のスマートフォンからお子様の位置情報履歴が確認できます。また、学校や街中にある見守りスポットの通過を通知する機能も利用可能。

